

令和2年度第1回紀南地域高等学校活性化推進協議会

配 付 資 料

- 令和2年度紀南地域高等学校活性化推進協議会委員名簿・・・・・・・・ P 1
- 紀南地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・ P 2
- 【資料1】平成30年度第2回
紀南地域高等学校活性化推進協議会の概要・・・・・・・・ P 3
- 【資料2】東紀州地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増）・・・ P 5
- 【資料3①】東紀州地域の高等学校への進学希望状況比較と入学者数・・・ P 6
- 【資料3②】紀南地域の中学校卒業生の進路動向・・・・・・・・ P 8
- 【資料4①】木本高校・紀南高校卒業生の進路状況・・・・・・・・ P 9
- 【資料4②】木本高校・紀南高校卒業生の進路先一覧・・・・・・・・ P 10
- 【資料5】木本高校の取組・・・・・・・・ P 13
- 【資料6】紀南高校の取組・・・・・・・・ P 20
- 【資料7】令和2年度の協議について・・・・・・・・ P 29

- 【別冊資料】高校教育を取り巻く社会情勢の変化

令和2年度 紀南地域高等学校活性化推進協議会委員名簿

No		所属及び名前	
1	学識経験者	三重大学教育学部 准教授 平山 大輔	継続
2	地域有識者	熊野商工会議所 青年部副会長 森本 健一	継続
3		文恵丸水産 代表 長山 行文	継続
4		紀宝町商工会 会長 田尾 友児	継続
5	市町教育委員会	熊野市教育委員会 教育長 倉本 勝也	継続
6		御浜町教育委員会 教育長 生駒 亮哉	継続
7		紀宝町教育委員会 教育長 西 章	継続
8	小中学校PTA代表	紀南PTA連合会 会長 高垣 裕人	新
9		紀南PTA連合会 副会長 九鬼 町子	新
10	高等学校PTA代表	県立木本高等学校PTA 会長 松田 唯	継続
11		県立紀南高等学校PTA 会長 水谷 徹	新
12	同窓会・地域代表	県立木本高等学校同窓会 会長 久保 治也	継続
13		県立紀南高等学校学校運営協議会 会長 廣畑 勝也	継続
14	小中学校長代表	熊野市立木本小学校 校長 川崎 奈保美	新
15		御浜町立阿田和中学校 校長 喜田 功	新
16	小中学校教員代表	熊野市立井戸小学校 教諭 向井 美奈	新
17		御浜町立御浜中学校 教諭 大崎 重久	継続
18	県立高等学校長	県立木本高等学校 校長 松本 徳一	新
19		県立紀南高等学校 校長 森 典英	継続
20	県立高等学校教員代表	県立木本高等学校 教諭 寺前 淑湖	新

紀南地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 少子化などの社会の変化が著しい中、紀南地域における高等学校の特色化、魅力化を図るとともに、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため、紀南地域高等学校活性化推進協議会（以下、「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に検討し、協議する。

- (1) 今後の紀南地域全体における県立高等学校のあり方に関すること
- (2) 紀南地域の県立高等学校活性化の方策に関すること
- (3) 施設・設備に関すること
- (4) その他検討を要すること

(組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、地域有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市町教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教職員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成24年 7月18日から施行する。

この要綱は平成29年 6月12日から施行する。

平成30年度第2回紀南地域高等学校活性化推進協議会の概要

1 日時 平成31年2月19日（火）19時00分から21時00分

2 場所 県立紀南高等学校 会議室

3 内容

(1) 東紀州地域の中学校卒業者の進学希望状況、小学校卒業者の進路状況について

(2) 木本高校・紀南高校の活性化に向けた取組の成果や今後の方向性について

4 概要

地域の中学校卒業予定者の進学希望状況や、木本・紀南両高校が活性化に向けて平成30年度に新たに取組んできたことの報告（プレゼン）をふまえ、地域の子どもたちがより多く両校への進学を希望するようにするためにどのようなことが求められるかについて協議を行いました。

《両校の新たな取組について》

- 近大附属新宮高校への進学希望者が現在10人程度であり、昨年度の進学実績の31人と比べ大きく減っていることは、木本高校の本年度の進学指導の取組が伝わった成果ではないかと感じている。
- 木本高校の文武両道の精神、スタディサプリを活用した指導、生徒に応じた個別指導を評価・感謝する声も聞かれる。
- 紀南高校の取組については、PRに努めてきたことで、以前と比べ、保護者によく伝わっている。

《両校の魅力を伝える方策等について》

- PRにおいては、卒業した生徒がどんな大人になって活躍しているかを、ビデオレター等も活用し、示していくことが有効ではないか。
- 子どもたちが早い時期から進路について考えることにつながるよう、中学校1・2年生やその保護者を対象とした高校説明会を実施してはどうか。
- 小学校で高校の説明会をすることについては、実施している地域はあるようだが、保護者や子どもの様子をふまえると、多くのニーズがあるとは感じられない。
- 木本高校ではスタディサプリを活用して自主的学習とその支援に取り組んでいるが、活用の仕方やどのように支援しているかを具体的に示すことにより、取組がより理解されるのではないか。
- 中学校の進路指導の中で、両校の特色や魅力を中学生にしっかりと伝え、それを

中学生が理解したうえで自分の進路を選択する力を育んでもらいたい。

- 中学校での進路指導が子どもにとって本当によかったかについて、進学後の子ども様子を把握して振り返り、よりよい進学指導に取り組んでいきたい。
- どのような理由で地域外の高校に進学したかについて、昨年度（H29）末に調査を行っているが、経年で把握し、傾向を分析していく必要がある。
- 地域外の高校に子どもを進学させた保護者の考えを調査し、評価していくことも必要ではないか。

《地域の高校の在り方について》

- 地域の子どもが減ってきているので、学科配置の見直しを含めて2校存続でいくのか、両校を統合するのか、考え始めるべき時期に来ている。
- 全国大会への出場を目指すなど、部活動を理由とした地域外の高校への進学者もいるため、部活動の活性化も視野に入れた両校統合についても考える必要があるのではないか。

東紀州地域 中学校卒業生数の推移と予測（含社会増）

令和2年5月1日 教育政策課調べ

	H 29.3 卒業	H 30.3 卒業	H 31.3 卒業	R 2.3 卒業	R 3.3 現中3	R 4.3 現中2	R 5.3 現中1	R 6.3 現小6	R 7.3 現小5	R 8.3 現小4	R 9.3 現小3	R 10.3 現小2	R 11.3 現小1
尾鷲市	卒業生数	134	128	122	118	126	121	117	114	101	121	88	87
	前年度対比		-6	-6	-4	-3	-5	-4	-3	-13	20	-33	-1
	R2.3対比					8	3	-1	-4	-17	3	-30	-31
北牟婁郡	卒業生数	145	153	115	110	122	98	96	78	96	79	72	80
	前年度対比		8	-38	-5	10	-24	-2	-18	18	-17	-7	8
	R2.3対比					12	-12	-14	-32	-14	-31	-38	-30
小計	卒業生数	279	281	237	228	248	219	213	192	197	200	160	167
	前年度対比		2	-44	-9	7	-29	-6	-21	5	3	-40	7
	R2.3対比					20	-9	-15	-36	-31	-28	-68	-61
熊野市	卒業生数	131	145	132	113	122	103	109	94	97	104	101	121
	前年度対比		14	-13	-19	3	-19	6	-15	3	7	-3	20
	R2.3対比					9	-10	-4	-19	-16	-9	-12	8
南牟婁郡	卒業生数	208	186	172	143	146	162	151	134	143	127	137	133
	前年度対比		-22	-14	-29	-9	16	-11	-17	9	-16	10	-4
	R2.3対比					3	19	8	-9	0	-16	-6	-10
小計	卒業生数	339	331	304	256	268	265	260	228	240	231	238	254
	前年度対比		-8	-27	-48	-6	-3	-5	-32	12	-9	7	16
	R2.3対比					18	9	4	-28	-16	-25	-18	-2
東紀州合計	卒業生数	618	612	541	484	516	484	473	420	437	431	398	421
	前年度対比		-6	-71	-57	1	-32	-11	-53	17	-6	-33	23
	R2.3対比					31	32	0	-64	-47	-53	-86	-63

《参考》

木本高校	募集定員	200	200	200	160	160
	欠員	6	10	0	2	—
紀南高校	募集定員	120	120	80	80	80
	欠員	19	40	18	23	—
学級数	木本・紀南	5・3	5・3	5・2	4・2	4・2

東紀州地域の高等学校への進学希望状況比較と入学者数（令和元年7月・12月希望調査と令和2年度の入学者数）

資料3①

〈全日制課程〉 R2.3卒

高等学校名		令和元年の希望調査と令和2年度の入学者数（人数）																											
		各地域別の進学希望と入学者数																											
		熊野市		御浜町		紀宝町		尾鷲市		紀北町		入学者小計		入学者合計															
R2 入学定員		7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
木本高校	160	86	77	70	41	40	36	51	36	34	144	12	10	10	2	2	156												
紀南高校	80	10	13	16	14	14	18	14	21	51	0	0	0	0	1	1	52												
尾鷲高校	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	90	91	61	58	60	151												
東紀州地域の計	440	96	90	86	55	54	54	65	54	195	97	100	101	67	61	63	359												
管内		3	5	5	1	1	1	0	0	7	12	8	6	30	29	27	40												
管外		2	6	6	0	0	0	0	0	6	3	4	5	3	9	9	20												
管内		5	2	2	0	0	0	0	2	4	0	0	0	4	3	2	6												
管外		5	8	9	7	8	9	7	16	33	4	3	3	1	3	3	39												
管内		2	2	5	2	2	2	4	4	11	2	3	3	5	5	6	20												
管外		113	113	113	65	66	66	76	76	256	118	118	118	110	110	110	484												
その他（定時制/通信制/就職など）																													
回答・入学者数の計		113	113	113	65	66	66	76	76	256	118	118	118	110	110	110	484												
卒業生数（人数）																													

※和歌山県への進学
 (公) 箕島高校1人 (公) 和歌山東1人 (公) 新宮高校4人
 (公) 熊野高校1人 (私) 近大新宮高校6人 (私) 近大新宮高校9人
 (私) 近大新宮高校3人

卒業者数（人数） 113 66 77 256 118 110 228 484

<参考> 東紀州地域外の全日制高校・高専への進学人数とその理由
 【調査対象】令和2年3月の中学校卒業生【調査方法】教育政策課による各中学校（熊野市・御浜町・紀宝町）への聞き取り

主たる進学理由				
大学進学	部活動*	就職	その他	
3市町合計	50	23	22	3
(うち近大新宮)	(18)	(16)	(2)	(0)

*部活動の種類
 野球、サッカー、陸上、ラグビー、バレーボール、ソフトテニス、レスリング、柔道、剣道、吹奏楽

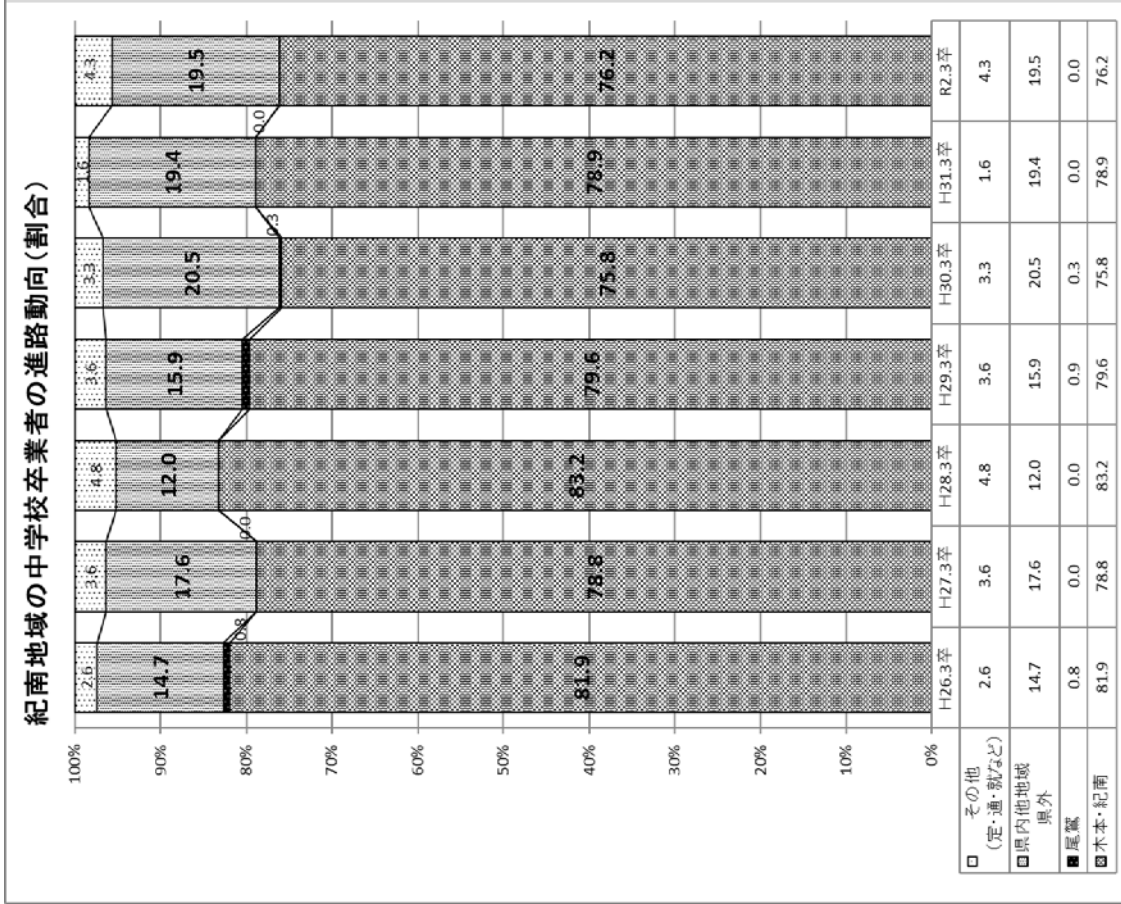
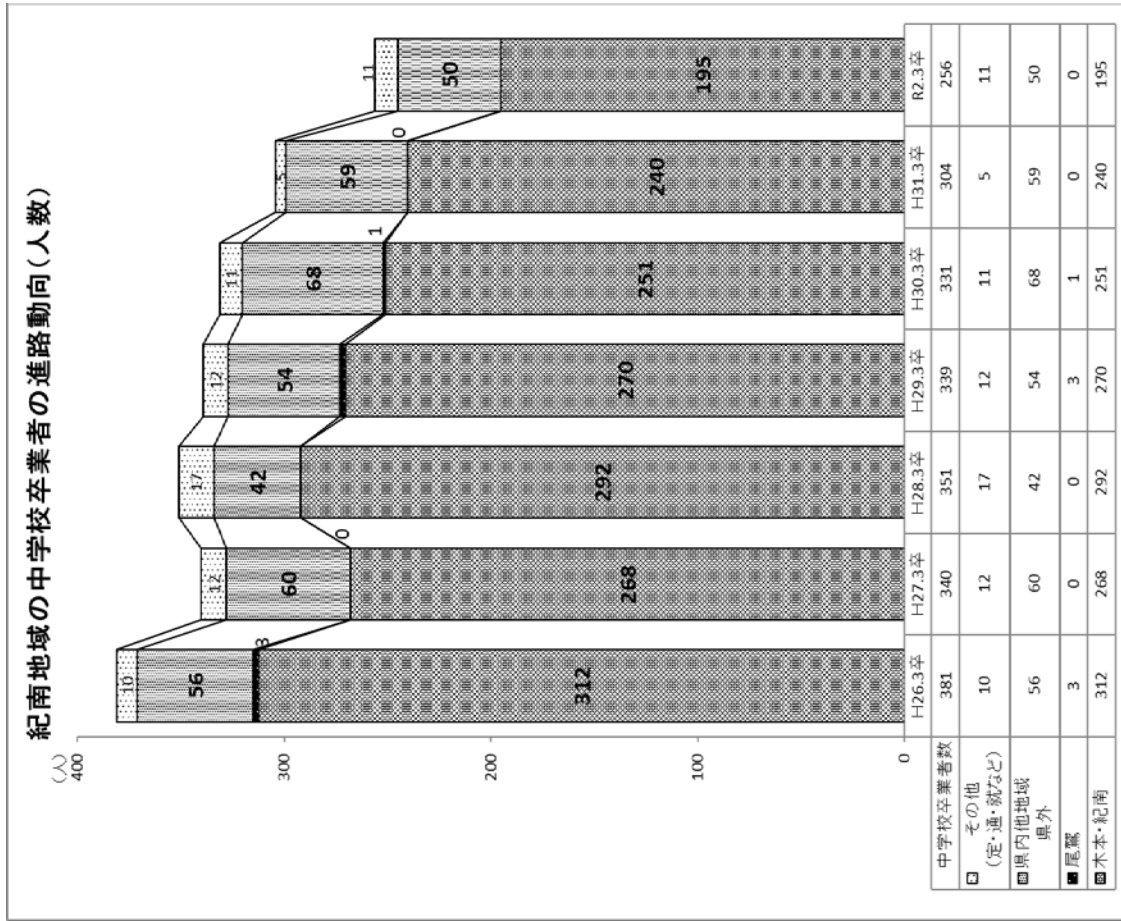
東紀州地域の高等学校への進学希望状況比較と入学者数（令和元年7月・12月調査と令和2年度の入学者数）の地域別割合（％）

〈全日制課程〉 R2.3卒

高等学校名		令和元年の希望調査と令和2年度の入学者数の地域別卒業生数に対する割合（％）														R2 入学 定員			
		各地域別の進学希望と入学の割合																	
割合％	R2 入学 定員	熊野市			御浜町			紀宝町			尾鷲市			紀北町			入学数 小計	入学数 合計	
		7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数	7月	12月	入学数			
木本高校	160	76.1	68.1	61.9	70.8	62.1	60.6	67.1	47.4	44.2	44.2	10.2	8.5	8.5	4.5	1.8	1.8	5.3	32.2
紀南高校	80	8.8	11.5	14.2	13.8	21.2	21.2	18.4	23.7	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.9	0.4	10.7
尾鷲高校	200	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.0	76.3	77.1	55.5	52.7	54.5	66.2	31.2
東紀州地域の計	440	85.0	79.6	76.1	84.6	83.3	81.8	85.5	71.1	71.4	76.2	82.2	84.7	85.6	60.9	55.5	57.3	71.9	74.2
管内		2.7	4.4	4.4	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	1.3	2.7	10.2	6.8	5.1	27.3	26.4	24.5	14.5	8.3
管内		1.8	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.5	3.4	4.2	2.7	8.2	8.2	6.1	4.1
管内		4.4	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	1.6	0.0	0.0	0.0	3.6	2.7	1.8	0.9	1.2
県外		4.4	7.1	8.0	10.8	12.1	13.6	9.2	21.1	19.5	12.9	3.4	2.5	2.5	0.9	2.7	2.7	2.6	8.1
県外		4.4	4.4	4.4	4.4	10.6	10.6	16.9	9.8	16.9	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
その他（定時制/通信制/就職など）		1.8	1.8	4.4	3.1	3.0	3.0	5.3	5.3	5.2	4.3	1.7	2.5	2.5	4.5	4.5	5.5	3.9	4.1
回着・入学者数の割合の計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
卒業生数（人数）		113	66	77	256	118	110	228	484										

紀南地域の中学校卒業者の進路動向

資料 3 ②



木本高校・紀南高校卒業者の進路状況

1 a 木本高校普通科

卒業年度	卒業者数		四年制大学		短期大学等	専修学校	各種学校	就職			その他	看護大高看准看	
			うち 国公立					東紀州地域 (含近隣県外)	県内 他地域	県外 (除近隣県外)			
令和元年度	114	人数	70	(20)	8	22	2	10	(3)	(1)	(6)	2	(17)
		(%)	61.4	(17.5)	7.0	19.3	1.8	8.8	(2.6)	(0.9)	(5.3)	1.8	(14.9)
平成30年度	120	人数	69	(20)	13	24	0	11	(5)	(3)	(3)	3	(12)
		(%)	57.5	(16.7)	10.8	20.0	0.0	9.2	(4.2)	(2.5)	(2.5)	2.5	(10.0)
平成29年度	105	人数	65	(16)	3	24	2	8	(2)	(1)	(5)	3	(17)
		(%)	61.9	(15.2)	2.9	22.9	1.9	7.6	(1.9)	(1.0)	(4.8)	2.9	(16.2)
平成28年度	118	人数	81	(9)	12	18	4	3	(0)	(0)	(3)	0	(19)
		(%)	68.6	(7.6)	10.2	15.3	3.4	2.5	(0.0)	(0.0)	(2.5)	0.0	(16.1)
平成27年度	71	人数	50	(11)	4	11	0	1	(0)	(0)	(1)	5	(5)
		(%)	70.4	(15.5)	5.6	15.5	0.0	1.4	(0.0)	(0.0)	(1.4)	7.0	(7.0)

1 b 木本高校総合学科

卒業年度	卒業者数		四年制大学		短期大学等	専修学校	各種学校	就職			その他	看護大高看准看	
			うち 国公立					東紀州地域 (含近隣県外)	県内 他地域	県外 (除近隣県外)			
令和元年度	76	人数	7	(0)	5	33	1	28	(3)	(5)	(20)	2	(4)
		(%)	9.2	(0.0)	6.6	43.4	1.3	36.8	(3.9)	(6.6)	(26.3)	2.6	(5.3)
平成30年度	80	人数	19	(0)	1	32	0	24	(7)	(10)	(7)	4	(9)
		(%)	23.8	(0.0)	1.3	40.0	0.0	30.0	8.8	12.5	8.8	5.0	(11.3)
平成29年度	80	人数	21	(0)	6	22	3	26	(12)	(2)	(12)	2	(5)
		(%)	26.3	(0.0)	7.5	27.5	3.8	32.5	(15.0)	(2.5)	(15.0)	2.5	(6.3)
平成28年度	77	人数	10	(0)	4	35	0	27	(5)	(7)	(15)	1	(8)
		(%)	13.0	(0.0)	5.2	45.5	0.0	35.1	(6.5)	(9.1)	(19.5)	1.3	(10.4)
平成27年度	114	人数	21	(0)	14	50	0	27	(8)	(6)	(13)	2	(13)
		(%)	18.4	(0.0)	12.3	43.9	0.0	23.7	(7.0)	(5.3)	(11.4)	1.8	(11.4)

2 紀南高校

卒業年度	卒業者数		四年制大学		短期大学等	専修学校	各種学校	就職			その他	看護大高看准看	
			うち 国公立					東紀州地域 (含近隣県外)	県内 他地域	県外 (除近隣県外)			
令和元年度	93	人数	7	(0)	13	22	0	44	(19)	(10)	(15)	7	(7)
		(%)	7.5	(0.0)	14.0	23.7	0.0	47.3	(20.4)	(10.8)	(16.1)	7.5	(7.5)
平成30年度	103	人数	7	(1)	5	29	0	58	(14)	(13)	(31)	4	(10)
		(%)	6.8	(1.0)	4.9	28.2	0.0	56.3	(13.6)	(12.6)	(30.1)	3.9	(9.7)
平成29年度	96	人数	6	(0)	7	29	0	48	(20)	(9)	(19)	6	(11)
		(%)	6.3	(0.0)	7.3	30.2	0.0	50.0	(20.8)	(9.4)	(19.8)	6.3	(11.5)
平成28年度	113	人数	7	(0)	7	25	0	71	(35)	(10)	(26)	3	(8)
		(%)	6.2	(0.0)	6.2	22.1	0.0	62.8	(31.0)	(8.8)	(23.0)	2.7	(7.1)
平成27年度	106	人数	8	(0)	10	26	0	56	(31)	(8)	(17)	6	(7)
		(%)	7.5	(0.0)	9.4	24.5	0.0	52.8	(29.2)	(7.5)	(16.0)	5.7	(6.6)

注) 「短期大学等」の等は高等専門学校への編入を含む。

「各種学校」は、大学等への進学のための「予備校」。

就職の「東紀州地域」には、新宮市等の近隣県外地域を含む。

「その他」には、「公共職業能力開発施設等入学者」、「一時的な仕事に就いた者」のほか、未定者等も含む。

大学	H30	R1			
(国)三重大学	6	6	大和大学		1
(国)信州大学	1	1	関西外国語大学		3
(国)名古屋大学	2	3	大同大学		1
(国)広島大学	1		国立音楽大学		1
(国)愛知教育大学	1		計	88	77
(国)福井大学		1	短期大学	H30	R1
(国)千葉大学	1		(公)津市立三重短期大学	3	5
(国)奈良女子大学	1		高田短期大学		1
(国)和歌山大学	1	1	名古屋女子短期大学	1	
(国)京都教育大学		1	名古屋短期大学	1	1
(国)高知大学		1	平成医療短期大学	3	1
(国)鳥取大学		1	大手前短期大学	1	
(国)富山大学		1	大阪成蹊短期大学	1	1
(公)三重県立看護大学	1	1	関西女子短期大学	1	
(公)名古屋市立大学		1	嵯峨美術短期大学	1	
(公)横浜市立大学	1	1	有明教育芸術短期大学	1	
(公)岐阜薬科大学	1		関西外国語短期大学部		1
(公)都留文科大学	1		修文大学短期大学部		2
(公)滋賀県立大学	1	1	実践女子大学短期大学部		1
(公)高知県立大学	1		奈良芸術短期大学	1	
同志社大学		1	計	14	13
立命館大学	2	1	専修学校(看護・準看)	H30	R1
京都産業大学	5		(国)国立三重中央看護学校	3	3
近畿大学		1	(公)和歌山県立なぎ看護学校	3	3
龍谷大学	3	1	松阪看護学校	1	1
皇學館大学	4	3	伊勢保健衛生専門学校(看護学科)	1	1
鈴鹿医療科学大学	5	7	津看護学校	1	1
四日市看護医療大学		1	三重看護学校	1	1
四日市大学		1	桑名看護学校	1	
愛知学院大学	1	2	岡波看護学校		1
愛知工業大学	3	1	愛知県厚生連加茂看護学校	1	1
大阪経済大学	1		愛知県厚生連更生看護学校	1	1
大阪芸術大学	2	1	中部労災看護専門学校		2
大阪人間科学大学	1		愛仁会看護助産専門学校		1
大阪工業大学	1		聖十字看護学校	2	1
大阪観光大学	1		計	15	17
関西医療大学	3		専修学校	H30	R1
関西福祉科学大学	1		三重県立津高等技術学校		1
京都橋大学	1		伊勢保健衛生専門学校	1	
京都文教大学	1		大阪医療技術学園専門学校	2	
仏教大学	1		大阪医療福祉専門学校	2	1
金城学院大学	1	1	大阪医療秘書福祉専門学校	1	
至学館大学	1	1	大阪OCE海洋動物専門学校	1	
椋山女学園大学	2		大阪観光専門学校		1
摂南大学	1		大阪歯科学院	1	
中京大学	2	2	大阪情報コンピューター専門学校	2	
帝塚山大学		1	大阪ハイテクノロジー専門学校	3	
帝塚山学院大学	1		大阪法律専門学校	2	
天理大学		1	大原法律公務員専門学校名古屋校	2	
東海学園大学	3	2	専門学校セントラルトリングアカデミー		1
東洋大学	1		名古屋医療秘書福祉専門学校		2
名古屋外国語大学	2	2	名古屋工学院専門学校	1	
名古屋学院大学		1	ミエ・ヘア・アーティストアカデミー		2
名古屋学芸大学	2		ユマニテク医療福祉大学校	1	
名古屋女子大学	1	2	大阪ダンス&アクターズ専門学校	1	
名古屋経済大学	1		大阪法律公務員&スポーツ専門学校	1	
名古屋文理大学	1		大原法律公務員専門学校津校		2
星城大学		1	関西学研医療福祉学院	1	
奈良大学		1	関西外語専門学校		1
奈良学園大学	2	1	関西医科専門学校		1
日本大学		1	京都芸術デザイン専門学校	1	
日本赤十字豊田看護大学	2	1	京都医療専門学校	1	
日本福祉大学	3	3	駿台観光&外語ビジネス専門学校		1
藤田医科大学		1	名古屋医専		1
武庫川女子大学	2	1	名古屋リゾート&スポーツ専門学校		2
桃山大学	1		名古屋ECO動物海洋専門学校		1
神奈川大学	1		名古屋医療秘書専門学校	1	
千葉商科大学	1		名古屋こども専門学校	1	1
名城大学		3	名古屋デンタル衛生士学院専門学校	1	
愛知淑徳大学		1	清恵会第二医療専門学校	1	
桜花学園大学	1		中部リハビリテーション専門学校	1	
大阪体育大学		1	東海医療科学専門学校	3	2
大阪音楽大学		1	東海医療工学専門学校	1	
大阪商業大学		1	東海工業専門学校金山校		2
大阪樟蔭女子大学		1	トヨタ名古屋自動車大学校		1
			トライデントコンピュータ専門学校		1

トライデントコ外国語ホテルブライダル専門学校		1
愛知文化服飾専門学校		1
あいち造形デザイン専門学校	1	
あいち福祉医療専門学校	1	1
伊勢調理製菓専門学校		1
伊勢理容美容専門学校		1
ELICビジネス&公務員専門学校		1
中部理容専門学校		1
履正社医療スポーツ専門学校		1
和歌山コンピュータビジネス専門学校		2
日本ナレーション演技研究所	2	
東京IT会計専門学校	2	
東京法律専門学校(名古屋)	1	
東京美容専門学校		1
中央工学院OSAKA専門学校	1	
国際医学技術専門学校	1	
小出美容専門学校	1	
アミューズメントメディア総合学院	1	
計	41	38
各種学校	H30	R1
ヒューマンアカデミー		1
計	0	1
就職(公務員)	H30	R1
熊野市消防	1	1
新宮市消防	1	
御浜町役場	1	
三重県警察		2
計	3	3
就職(東紀州地域)	H30	R1
SWS西日本(株)	1	
北越紀州製紙(株)		1
三重交通(株)南紀	1	
熊野精工(株)	2	1
花由	1	
第三銀行	1	
カーコン車検(株)紀州工場		1
吉田水道		1
計	6	4
就職(県内他地域)	H30	R1
伊勢農業共同組合		1
(株)エクセディ	3	2
(株)ホンダカーズ三重	1	
ニプロファーマ(株)	1	
社会福祉法人 洗心福祉会	1	
ホテル季の座		1
日東電工株式会社亀山事業所		1
SDSライン(株)	1	
計	7	5
就職(県外)	H30	R1
アイシン精機(株)	1	1
トヨタ自動車(株)	1	1
ダイハツ工業(株)		1
日本郵便(株)	3	
フジパングループ(株)		3
(株)美スギ		1
(株)デンソー	1	1
イオンリテール(株)	1	
東海旅客鉄道(株)		1
西日本旅客鉄道(株)		1
アイシンAW(株)	2	1
医療法人山翔会山崎歯科	1	1
大同テクニカ(株)		1
太田商事(株)		2
ウォルナットファーマシーズ(株)		1
黒崎播磨(株)名古屋支店		1
山崎製パン(株)		1
(株)ビューティサロンモリワキ		1
興和工業所(株)		2
札幌かに本家(株)		1
ダイナック(株)	1	
お菓子のレニエ(有)	1	
クサマ工業(株)	1	
クラシード(株)	1	
ドリームカンパニー(株)	2	
兵庫開発(株)有馬ロイヤルゴルフクラブ	1	
三菱自動車(株)	2	3
奈良交通(株)		1
(株)エフベーカーリーコーポレーション		
計	19	26

進路先一覧(紀南高校)

大学	H30	R1
(公)公立鳥取環境大学	1	
皇學館大学	1	1
鈴鹿医療科学大学		1
中京大学	1	
愛知学院大学		1
日本福祉大学		1
岐阜保健大学	1	
中部学院大学		1
東海学園大学	1	
神戸学院大学		1
大阪芸術大学		1
京都光華大学	1	
京都ノートルダム女子大学		2
大阪人間科学大学	1	
計	7	9

短期大学	H30	R1
(公)三重短期大学		5
高田短期大学		1
ユマニテク短期大学		1
愛知医療学院短期大学	1	
愛知文教女子短期大学	2	2
愛知みずほ短期大学		1
愛知学泉短期大学	1	
岐阜保健短期大学		2
修文大学短期大学部	1	1
大阪芸術大学短期大学部		1
大阪成蹊短期大学		1
計	5	15

専修学校(看護・准看)	H30	R1
(公)和歌山県立なぎ看護学校	3	4
伊勢保健衛生専門学校(看護学科)		1
津看護専門学校	1	
金沢医療技術専門学校	2	
新宮市医師会准看護学院	5	1
宝塚三田病院付属看護学校		1
計	11	7

専修学校	H30	R1
東海医療技術専門学校	1	
甲賀健康医療専門学校	1	
関西社会福祉専門学校		1
名古屋こども専門学校	1	
大阪こども専門学校	1	
三重調理専門学校	1	
大阪調理製菓専門学校		1
トヨタ名古屋自動車大学校		3
名鉄自動車専門学校	2	
修成建設専門学校	1	
東海工業専門学校金山高校		1
津高等技術専門学校	1	
名古屋情報メディア専門学校		1
大阪ハイテクノロジー専門学校		1
ミエ・ヘア・アーティストアカデミー	1	
旭美容専門学校		2
京都理美容専修学校		1
ヴェールルージュ美容専門学校	1	
AFLOAT School	1	
専門学校セントラルトリミングアカデミー		2
大阪動物専門学校天王寺校	2	
京都外国語専門学校	1	
駿台観光&外語ビジネス専門学校	1	
国際観光専門学校名古屋校	2	1
名古屋ブライダルビューティー専門学校		1
大原法律公務員専門学校津校	3	
HAL大阪		1
計	20	16

就職(公務員)	H30	R1
陸上自衛隊	4	2
大阪府警		1
計	4	3

就職(東紀州地域)	H30	R1
北越コーポレーション(株)(旧北越紀州製紙紀州工場)		3
(株)北越ペーパーテック紀州(旧紀州紙精造/紀南産業/北越エンジニアリング)		1
熊野精工(株)	3	1
パナソニックライフソリューションズ紀南電工(株)		1
SWS西日本(株)	1	2
日本郵便(株)東海支社	3	1
特別養護老人ホームたちばな園		1
医療法人慈心会菖蒲園	1	
ケアビレッジ和		1
紀南特別養護老人ホーム組合亀楽園		1
(株)ケイオーブラン		2
(株)主婦の店	1	
尾鷲物産(株)	1	
海洋ゴム(株)		1
伊勢農業協同組合		1
三重くまの森林組合		1
(株)かきうち農園	1	
カーコン車検(株)紀州整備工場	1	1
(有)産王商会熊野サービスセンター		1
(株)緑樹	1	
エステショップエル	1	
計	14	19

就職(県内他地域)	H30	R1
(株)エクセディ上野事業所	2	3
ニプロファーマ(株)伊勢工場	1	
ダイソウ工業(株)	1	
ミエコーティング(株)	2	
山九(株)三重支店	1	
医療法人博仁会村瀬病院	2	
社会福祉法人あけあい会		1
長島観光開発(株)		1
ホテル季の座		1
(株)ベストロジ三重		1
三重交通商事(株)		1
計	9	8

就職(県外)	H30	R1
東海旅客鉄道(株)	1	
トヨタ車体(株)	1	
アイシン精機(株)	1	1
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	1	1
ダイハツ工業(株)	1	1
三菱自動車工業(株)	1	
ユニチカ(株)岡崎事業所	1	
日鉄物流名古屋(株)		1
日鉄住金テックスエンジ(株)	1	
大同テクニカ(株)	1	1
東洋ソフラン(株)	1	
濱野鋼業(株)名古屋支店	1	
産業振興(株)名古屋事業所	1	
黒崎播磨(株)名古屋支店	1	
吉川工業(株)名古屋支店		1
(株)テツゲン	1	
(株)上組	1	
(株)スガテック	1	
ビューテック(株)西日本事業所	1	1
(株)コジマ	1	
由良アイテック(株)	1	
フジパン(株)		1
フジパングループ(株)	1	
(株)エフペーカーリーコーポレーション名古屋工場	1	
(株)エフペーカーリーコーポレーション大阪工場	1	
社会福祉法人サン・ビジョン		2
(株)三陽商会	1	
(株)LIXILトータルサービス	1	
(株)美スギ	1	
(株)フランシェ	1	
(株)アオキスーパー		1
(株)サガミチェーン	1	
(株)かぶらやグループ	1	
大和串Planning(株)		1
西日本電気テック		1
大阪水産運輸(株)		1
(株)加藤装室	1	
(株)北口工務店	1	
(株)スガナミ	1	
計	31	14



木本高校 取組の報告 と 今後に向けて

1

木本高校 資料5

- 県内屈指の歴史と伝統
- 普通科:3クラス 総合学科:1クラス
R2年度より1クラス減
- 落ち着いた学習環境、温かい人間関係
- まじめでしっかりした生徒
めんどうみがいい先生

～ 地域で学んで自己実現を ～

2

木高の学科、コース

- 普通科** 3クラス
 選抜(1クラス) 普通(2クラス)
 本人の希望と入試の成績で選抜
- 総合学科** 1クラス
 2年生で、2コースに分かれる。
 ・キャリアコース
 ・スタンダードコース
- 定時制** 1クラス
 夜、授業を受け、4年間で卒業。
 (定通併修で、3年卒業もできる)

3

普通科

選抜コース

【めざす進路】

国公立大学
難関私立大
の文系・理系学部



国公立大受験で必要な

大学入学共通テスト
理系学部進学
に対応する学力をつける

普通科

普通コース

【めざす進路】

私立大学 主に文系学部、一部の大学の理系学部

短大

看護・医療系専門学校

進学先での学習に困らない学力をつける

5

令和元年度末合格・内定状況

3月23日現在
(過年度生含む)

【国立大】 24
名古屋3 三重6 三重県立看護 筑波 信州
愛知教育 京都教育 和歌山 山梨・医 金沢2 他

【私立大】 93
同志社 立命館 関西学院 龍谷 近畿
京都産業 南山 名城 中京 名古屋外語
金城学院 愛知工業 皇學館 鈴鹿医療科学 他

センター試験受験 39 (昨年比+1)

三重大志望 14 (地域推薦、公募推薦等含む)

普通コースからも国立公立大受験 (昨年、一昨年も合格)

7

総合学科

【めざす進路】

就職

専門学校 看護・医療系以外

↓

将来の職業について考える
キャリア教育が充実

勉強と部活動を両立

6

令和元年度末合格・内定状況

3月23日現在
(過年度生含む)

【短大】 13
三重短 名古屋短 関西外語短 高田短 他

【看護学校】 18
国立三重中央看護 和歌山県立なぎ 三重看護
中部労災 松阪看護 他

【専門学校】 39
東海医療科学 東海工業 名古屋医療秘書福祉
大原法律公務員 和歌山コンピュータビジネス 他

8

【就職・公務員】 4
熊野市消防 三重県警察3

【就職・民間企業等】 35
トヨタ自動車 三菱自動車工業 デンソー
アイシン精機 ダイハツ工業 JR東海
JR西日本 フジパン 奈良交通
北越コーポレーション(旧紀州製紙) 熊野精工 他

- 「難関大進学～就職」多種多様な進路希望のすべてを実現
- 進学後、就職後も考えた指導
 - ・進学後も困らない学力・学習意欲
 - ・自分の将来を主体的に考える力
 - ・人間性、社会性、生活態度
- 三重大と連携した教育活動
 - ・生徒の学習意欲・進学意識向上
 - ・東紀州サテライトとの連携強化
 - ・地域推薦入試
- 塾に行かなくても志望校合格
 - ・個々の進路・学力に合わせた、ていねいな指導
 - ・自主的学習促進の指導 Web利用学習等

木高の進学指導の取組

① 学力・進路希望に合わせた、
ていねいな指導・支援

② 三重大との連携強化

学力・進路希望に合わせた、ていねいな指導・支援

【スタディーサプリ】 (リクルート)

- Webを利用し、“4万本以上の動画授業が見放題
- 2・3年普通科全員が学校団体登録(他は希望者が登録)
→学習法アドバイス、学習習慣定着、学力向上

通信動画授業の予備校・塾と同じ環境

+

教員による受講指導、サポート

「塾へ行かなくても志望校合格」の重要な取組

木高の国公立大合格者の通塾は約4割



学力・進路希望に合わせた、いろいろな指導・支援

【スタディーサプリー】 受講支援

○操作方法、受講方法説明会

- ・全生徒参加
- ・教員対象の活用説明会も実施

○到達度テストの活用 春・秋の2回、団体登録者全員が受験

- ・全生徒参加の振り返り会、教員対象の検討会
- ・結果を受けて、各生徒に合わせた講座を紹介

○生徒への受講勸奨、宿題等の配信

○校内Wi-Fi整備

13

16



学力・進路希望に合わせた、いろいろな指導・支援

【クラッシー】 (ベネッセ)

- R2年度より 1年生 全員が受講
- データ量が多い
- アンケート機能・宿題の配信と提出
- スタディーサポート(確認テスト)で、
全国規模での自分の立ち位置を把握

15



学力・進路希望に合わせた、いろいろな指導・支援

【スタディーサプリー】 受講状況

R2.2.29現在

	総視聴時間		受講講座数	
	平均	最高 最低	平均	最高 最低
1年生・選抜	6.0h	26.9 0.1	3.9	28 0
1年生・普通	3.4h	32.9 0	2.1	40 0
2年生・文理	5.1h	53.0 0	2.1	35 0
2年生・文系	3.6h	62.5 0	1.0	54 0
3年生(希望者)	33.0h	239.8 0	22.1	105 0

14



学力・進路希望に合わせた、いろいろな指導・支援

個々の生徒に合わせた課外・補習授業、個別指導



個々の進路に合わせて、少人数でも



個別指導もていねいに

16

課外・補習授業

【学期中の放課後（通年）】3年生中心
50分×週1回 13講座 のべ163名受講

【夏休み】全学年
90～50分×3～5回 26講座 のべ385名受講

単発の課外・補習や個別指導も含めると、
「毎日、どこかの教室で行われている」



【勉強合宿】

- 7月19～21日の2泊3日
熊野少年自然の家
- 1年生希望者32名が参加
- 1日あたり50分×10限で、各自に合わせた自主的学習＋引率教員の特設補講
十教員による質問対応・学習へのアドバイス
- みんなであいっしょに朝から晩まで勉強し、
勉強の方法や態度を見直したり、志望校
合格への決意を再確認



三重大

【三重大との



三重大との連携強化

【三重大との合同進路説明会】

- 2019年6月15日(土) 午後
木本高校総合学科棟、三重大東紀州サテライト学舎
- 東紀州地域の高校生・中学生とその保護者等が参加
- 三重大・大学生生活の紹介、個別進路相談
東紀州サテライトでの取組紹介
大学入試制度・三重大入試の説明
大学進学希望者のための「三三木高進学説明会」

三重大大学進路ガイダンス in 東紀州サテライト
～「大学入試」はどのように変わるの？～

中学生・保護者対象に、木本高校の進路指導三三木説明会も開催

令和元年 **6月15日(土)**
13:30～16:15 (13:00 から受付)

会場：三重大立木本高等学校
(総合学科棟 2階) 多目的ホール、【1階】セミオ一室)

三重大東紀州サテライト学舎(木本高校敷地内)
【大学入試改革】という方向性を二大入試が取りこぼすことはありますか、今の高校2年生が大学を志望するときから大学入試が変わります。
三重大の進路ガイダンスを通じて、入試制度などのように変わっていくのを知ることのできる機会です。興味のある人の参加をお待ちしています。

参加対象 東紀州地域の高校生・中学生とその保護者 等
※参加の申込みは、必要事項を記入し、当日会場にお届けください。

プログラム 進路：①～④は木本高校多目的ホール ⑤は東紀州サテライト学舎
①13:30～13:55 三重大の学校紹介
②14:00～14:25 教育学部における東紀州サテライトでの取組
③14:30～14:55 大学入試改革や三重大の大学入試制度について
三重大サテライト設置学舎 須藤 仁志 教授
三重大サテライトセンター センター 宮下 伊呂 准教授
④15:00～15:30 大学の学び・生活等の紹介
⑤15:40～16:15 個別進路相談(教育学部)
* 須藤 教授と三重大学生
* 三重大学生(木本高校の卒業生)の体験やパルティスセッション
東紀州サテライト学舎の自由見学
* 三重大学生・保護者対象、大学進学希望者のための「三三木高進学説明会」
(※セミナー室)

【主催】三重大立木本高等学校、三重大進路指導委員会 【共催】国立大学法人 三重大
阿部 尚志 三重大立木本高等学校(阿部 尚志 阿部 尚志) 0597-289-6782
三重大教育委員会事務局(阿部 尚志) 059-244-2951

三重大との連携強化



- 【木高の教育活動に活用】
- 三重大教員による木高での講演会、授業
- 総合学科「総合的学習」での“木育講座”
- 東紀州講座 木高と尾鷲高で毎夏休みに実施
- 【三重大生・教員と木高生・木高教員の交流】
- 学部生、院生と木高生の交流会
- 三重大教員と木高教員との交流、授業へのアドバイス

21

18

三重大との連携強化



- 【高校入学時の東紀州サテライト訪問】
- 選抜コース新入生が東紀州サテライトを訪問
→進学意識・学習意欲の向上のきっかけ
- 【文化祭での三重大コーナー】
- 木高文化祭に「三重大コーナー」
→三重大教員が、地元の中高生、保護者等に三重大紹介地域の皆さんに、木高・三重大連携のPRの機会

22

三重大との連携強化



- 三重大との連携強化で
- 木高生が大学を知り、身近に感じる
→学習意欲・進学意識の向上
- 生徒、教員の学びが広がる、深まる
→学びの機会の増加, 学びの質の向上
- PR機会の創出、増加

23

今後に向けて



- 【今後の取組の視点】
- 個々の生徒に合わせた、ていねいな指導
- 生徒の学習意欲・積極性・自主性を高める
- 教員の意識、学校の雰囲気高める
- 学校の実際の姿を知っていただく

24

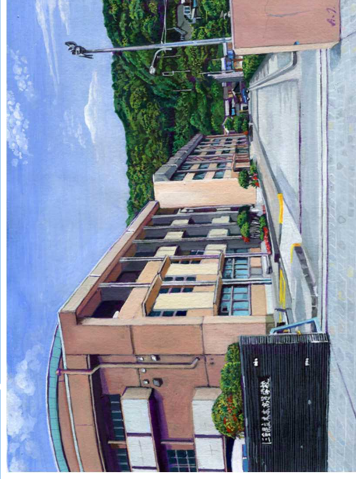
今後に向けて

【具体的には】

- 習熟度、進路希望別講座の拡充
- 個別面談の機会増
- Web利用学習、家庭学習の指導、支援
- 進路意識を高める指導
- 学校公開、学校説明会等、情報発信・PR
- 小中学校や地域と木高生・教員の交流

25

地域で学んで、自己実現を！



木高WebHP
「木本高校」で検索

今後も、全力で活性化に取り組みます。
ご支援をお願いします。

木高からのお願い

- 生徒の活躍の場、教員どうしの交流の機会を提供いただきたい
高校生との交流会、中学校での進路説明会
小学校外国語活動等の授業
学校行事や部活動
教員の合同研修・相互交流
- 生徒や学校の実際の姿を知っていただき、叱咤激励とPRへの協力をいただきたい
文化祭、体育祭、公開授業等に来校
オープンスクール、学校説明会等への参加

26

令和 2 年度 紀南地域活性化協議会

活性化の取組 報告

三重県立紀南高等学校



紀南高等学校の報告

紀南高等学校の活性化計画について

活性化計画に基づく取組

現状と課題・今後の方向性

生徒の声

紀南高等学校活性化計画

紀南高等学校活性化計画(1)

▶ 地域を学び場とした学習の推進

-学校設定科目「地域産業とみかん」の実施

-学校設定科目「就労体験」の充実



「地域産業体験」の
授業では、生徒は
ご自身を担い、地域の
文化の発展に
貢献したいという
思いを込めて、
地域産業体験に
参加しています。

「課題解決型」の
授業として、さら
に授業と実習を
組み合わせる必要
があります。

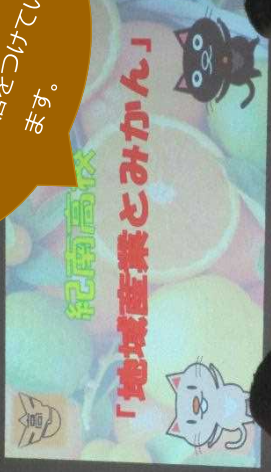
本年度は「わかん
祭」を生徒が主
導して文化祭を
開催しました。
自信を持って
行いました。



「地域産業体験」の
授業では、生徒は
ご自身を担い、地域の
文化の発展に
貢献したいという
思いを込めて、
地域産業体験に
参加しています。



このような機会を重
ねることにより、生
徒は自信をつけてい
ます。



地域から学んだことをい
ろいろな場で発信しまし
ました。



他県の高校生との交流を
通じて、学びを深めました。



紀南高等学校活性化計画(2)

▶ 個々の生徒に応じた丁寧な進路指導

- 授業改善の推進
- 看護系・教員養成系への進学希望の実現



文部科学省のAI推進の指
定を受けて、授業改
善に取り組んでいま
す。

教員は、研修を重ね
AIの視点を大事にし
た授業を展開。

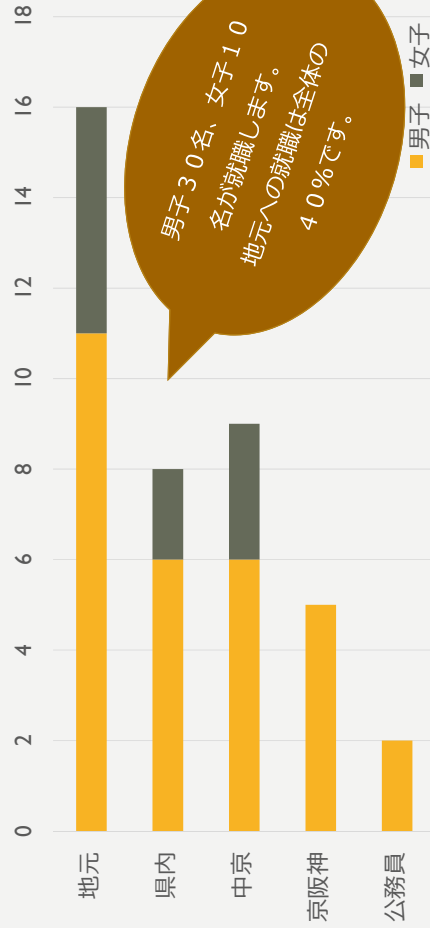
主
なる先生は生徒と対
話しながら授業を進
めていきます。



進路室の隣の資料室を生徒
たちは「勉強部屋」と呼び
ます。大学進学を目指す生
徒はこの部屋に集まりま
す。

一人ひとりに合わせた受験
計画を教員が作り、進捗状
況を確認しながら個別指導
をしています。

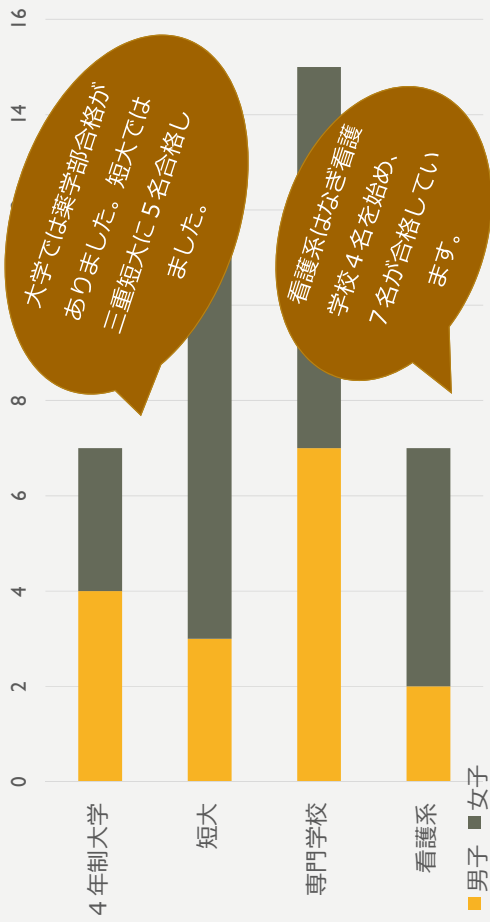
令和元年度卒業生就職先



男子30名、女子10
名が就職します。
地元への就職は全体の
40%です。

■男子 ■女子

令和元年度卒業生進路希望先



紀南高等学校活性化計画(3)

▶ 地域への理解を深める学習

- 学校設定科目「東紀州学」のバージョンアップ
- 「地域で活躍する人」に学ぶ学習の実施
- 御浜町と協働した防災活動
- 地域のイベントや行事への積極的参加



紀南高等学校活性化計画(4)

➤ 魅力の発信

-学習成果の積極的発信

生徒自身が中学校にお邪魔して、発表などをする機会づくりをお願いしています。今年度は阿田和、御浜中に行かせてもらいました。

阿田和御浜中へ行って、中学校の先生と話をしました。中学校の先生から、自分たちの学校の魅力を発信してほしいとお願いしました。



3年間紀南高校で学んだことを、出身中学校の後輩に伝える会としてついでに発信することができました。



全戸配布のコミュニケーション「紀南の風」(年3回)やブログ「今日の紀南高校」で学校の様子を発信しています。

現状

- 地域の生徒数の減少
- 活性化の取組→中学校での説明会などで発信



前期選抜希望者の増加

H31・・・37名/24定員 (12.3%)
R2・・・45名/24定員 (17.9%)

取組から見えてきた課題

見えてきた課題①

- 「地域産業とみかん」では、課題解決に向けた探究的な活動につなげていく必要がある。
また、授業で学ぶ魅力を後輩に伝えていくことが必要である。

見えてきた課題②

- 生徒の学ぶ意欲を引き出し、基礎学力の定着や様々な能力の向上にむけた、授業力の向上の取組の継続。
• 看護系への進学指導のさらなる充実。

見えてきた課題③

- 「東紀州学」等の地域理解の学習について、より実践的な取組や探究活動への発展を促す必要がある。
- 地域イベント等への生徒参加の拡大。

見えてきた課題④

- 現在の紀南高校の様子への地域からの理解。
- 紀南高校の様子を地域に発信する方法の模索。

今後の方向性
～地域の高校として、更なる活性化を目指して～

方向性

- 小規模校の良さを活かして、生徒によりそった教育活動を続ける。
- 地域を学びのフィールドとした教育活動を地域の支援を得て続ける。
- 紀南高等学校の良さを、中学生やその保護者に興味をもってもらえるよう発信を続ける。

具体的な取組①

- 「地域産業とみかん」・「東紀州学」等、地域を学びの場とした探究的な活動を主たる目的とした教育課程の類型化（コース制）



- S B P 活動の展開についての検討・実施

具体的な取組②

- 授業改善研究を積極的に行い、教員研修の機会の一層の充実を目指す。



具体的な取組③

- 地域医療・福祉を主体として、進学を目指すための教育課程の類型化（コース制）
- メディカルラリー一甲子園への参加や看護系諸学校からの説明会を充実させるなど、地元就職率の高い看護系進学へのバックアップ。



具体的な取組④

- 中学生の進学先として、目的意識をもって選ばれらるこ
とにながらう、生徒による学習成果の発表など、
より生の紀南高校の様子が伝わる情報発信を行う。
- 「きなん俳句コンクール」等、
地域の学びを深める取組の
企画・実施の継続。



具体的な取組⑤

- 「まごたん入学（県外からの入学者の受け入れを認める新入試制度の積極的活用）」を様々な媒体を通じたPR。



具体的な取組⑥

- 学校表示看板の設置による、学校のPR



令和2年度の協議について

1 協議の進め方

予測することが困難であると言われるほど社会情勢が大きく変化する中で、教育的課題はより複雑化・多様化しています。そのような中、これからの時代を生きていく高校生にどのような力を育み、本県の高校でどのような教育を進めるべきかなど、これからの三重の高校教育のあり方について検討していく必要があります。

こうした本県の県立高校の将来像については、「三重県教育改革推進会議」を中心に議論・整理していくとともに、既存の高校教育の枠にとらわれない幅広で多様な観点・角度から調査し考察を加えるため、今年度新たに設置する「県立高等学校みらいのあり方検討委員会」において、次期「県立高等学校活性化計画」（令和4年度から5年間、以下「次期計画」）の策定も見据えながら審議します。

各地域（紀南・伊勢志摩・伊賀）に設置した高等学校活性化推進協議会においては、これまで長年にわたり、特に少子化への対応等を中心に各地域の現状認識を共有しつつ、地域特有の課題の解決に向けて協議を重ねてきました。令和2年度の各地域の協議会においては、教育に関する国の動向を踏まえながら、次期計画の策定を見据えて、地域における高校教育及び高等学校のあり方について協議します。

2. これまでの協議と課題

- (1) 当協議会は、平成24年度の協議会のまとめにおいて、「将来的に、地域状況を考慮し、紀南高校が1学年2学級、もしくは木本高校が1学年5学級を維持できないとき、両校の統合は避けられない」とし、平成25～27年度にはこのことを踏まえた協議を行ってきました。平成28年度の協議においては、両校を存続させることを望む意見が改めて出されたこと、また平成29年度を始期とする「県立高等学校活性化計画」において、「1学年2学級以下の高等学校において、協議会を設置し、地域と一体となった活性化に取り組む」との新たな方向性が示されたことにより、平成29～30年度には、紀南地域の中学校卒業生の動向等を共有しながら、両校の活性化に向けた主な取組を協議しました。
- (2) 木本高校は、サポート委員会（学校関係者評価委員会）を活用するなど地域や地元行政との連携を強化し、進学や部活動へのニーズや期待に応えることをはじめとした教育活動の充実に努めています。
- (3) 紀南高校は、上述の「県立高等学校活性化計画」に基づく協議会を設置して、地域と一体となった活性化に取り組むとともに、昨年度からは「地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業」を実施して、地域と連携した学習活動を進めています。
- (4) 両校が活性化を進めるなか、入学者選抜においては、地域の中学校卒業生が減少していることや県外の高校や県内他地域の高校・高専への進学者の影響により、欠員を生じる状況にあります。特に令和7年度の当地域の中学校卒業生数の減少を勘案すると、生徒の学びを保障するための高等学校のあり方について、協議をしていく必要があります。

3. 協議会の開催予定

(1) 第1回協議会（9月23日）

- ・紀南地域の高等学校を取り巻く状況について
- ・木本高校・紀南高校の活性化に向けた取組について
- ・紀南地域の県立高等学校の今後の在り方について

(2) 第2回（2月下旬～3月上旬）

- ・東紀州地域の中学校卒業者の進路希望状況、紀南地域の高等学校の令和3年度入学者選抜における志願状況等の共有
- ・木本高校・紀南高校の活性化の新たな取組の成果や課題の共有、次年度に向けた取組の方向性等についての協議
- ・紀南地域の県立高等学校の今後の在り方について

次期「県立高等学校活性化計画」の策定に向けて

